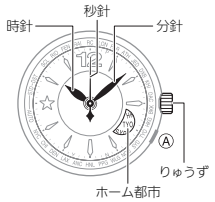
5198

CASIO

各部の名称とりゅうずの操作

本書は、携帯に便利なように、一部機能を抜粋して記載してあります。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

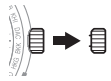
この時計の操作は、Ⓐ ボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。



重要

防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを引いたままの状態で使用しないでください。

りゅうずは、2 段階に引けます（無理に引っ張らないでください）。

1 段引き

ホーム都市の設定
2 段引き

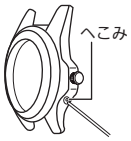
時刻設定など

参考

りゅうずを 1 段引き、秒針がホーム都市を指してからりゅうずを戻すと、秒針が充電必要度のめやすを約 1 秒間表示します。

重要

- Ⓐ ボタンは誤動作を防ぐために、指で簡単に押せない構造になっています。先が細いものなどを使用して、ボタンのへこみ部分を押して操作してください。
- 本書ではわかりやすいよう Ⓐ ボタンを目立たせて表示しています。



※ 本製品の操作説明書は下記 URL からダウンロードできます。
http://casio.jp/support/wat/

5198QR*JA

ホーム都市の設定

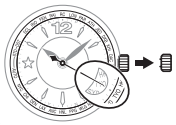
海外への旅行や出張など、本機をご使用になる国や地域が変わったときは、
時間を現地時刻に合わせるためにホーム都市の変更が必要です。

例）ニューヨークで使う場合

ホーム都市を「NEW YORK (NYC)」に設定する

❶ りゅうずを 1 段引き、ホーム都市セット状態にします。

秒針が現在選択しているホーム都市を示します。



❷ りゅうずを回し、秒針を「NYC/NEW YORK」に合わせます。



❸ Ⓐ ボタンを押し、スタンダードタイムとサマータイムの設定にします。

秒針が、AUTO・STD・DST のいずれかを示します。

AUTO	電波の受信に成功すると、自動的にスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。
DST	サマータイムに切り替えます。
STD	スタンダードタイムに切り替えます。

❹ りゅうずを回し、秒針を AUTO に合わせます。

ホーム都市をニューヨークや東京にする場合は、AUTO に設定します。



❺ りゅうずを戻します。

時刻を表示します。時刻表示に戻るまで、最大約 10 分かかります。

重要

サマータイム期間中は、電波の受信が成功するまでは、1 時間遅れた時刻を表示します。電波の受信ができない場合は、DST に設定してください。

都市コード一覧表

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC	0	<協定世界時>	WELLINGTON (WLG)	+12	ウェリントン
LONDON (LON)	0	ロンドン *	PAGO PAGO (PPG)	−11	パゴパゴ
PARIS (PAR)	+1	パリ *	HONOLULU (HNL)	−10	ホノルル *
ATHENS (ATH)	+2	アテネ *	ANCHORAGE (ANC)	−9	アンカレジ *
JEDDAH (JED)	+3	ジェッダ	LOS ANGELES (LAX)	−8	ロサンゼルス *
DUBAI (DXB)	+4	ドバイ	DENVER (DEN)	−7	デンバー *
KARACHI (KHI)	+5	カラチ	CHICAGO (CHI)	−6	シカゴ *
DHAKA (DAC)	+6	ダッカ	NEW YORK (NYC)	−5	ニューヨーク *
BANGKOK (BKK)	+7	バンコク	SANTIAGO (SCL)	−4	サンティアゴ
HONG KONG (HKG)	+8	香港 *	RIO	−3	リオデジャネイロ
TOKYO (TYO)	+9	東京 *	F DE NORONHA (FEN)	−2	フェルナンド・デ・ノローニャ
SYDNEY (SYD)	+10	シドニー	PRAIA (RAI)	−1	プライア
NOUMEA (NOU)	+11	ヌーメア			

* 受信機能対応都市
(HONOLULU ／ HNL、ANCHORAGE ／ ANC は条件が良ければ受信する場合もあります。)

- この表は 2010 年 12 月現在作成のものです。
- この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。
- 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

Printed in Japan
MA1108-A